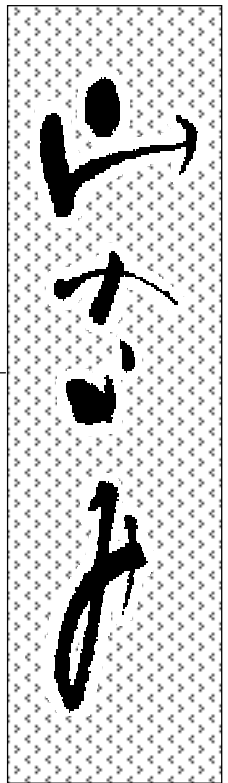


# また来た 激震!

## 皆さま、ご無事だったでしょうか?

### 平成 19 年 7 月 16 日 新潟県中越沖地震発生



北条地区  
コミュニティ  
振興協議会  
TEL25-3355

にわやま さき

## 復興に向かって、ともに頑張ろう!

北条地区災害対策本部本部長  
コミュニティ振興協議会会長

江尻 東磨

このたびの中越沖地震により被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興とご健康をお祈り致します。

震災当日は着の身着のまま避難所へ行かれた姿や余震の恐怖から屋外や自動車の中で不自由な避難生活を余儀なくされるなど、いずれも痛ましく胸が締めつけられる思いを致しました。

この地震災害については当日の午前十時三十五分、コミュニティセンター内に災害対策本部を設置し、各町内からの被災状況の連絡、行政への支援物資の要請などに全力を挙げて取り組んでまいりました。

また、大勢の皆さまから救援、ボランティア活動に

ご協力を賜りました。温かいご支援に感謝し、お礼を申し上げます。

また、自衛隊から炊き出し、給水、入浴施設の設営など多くの支援をいただいたことも忘れてはならないことです。

災害時の緊急対応に一応のめどがついた、去る八月二十五日北条地区災害対策本部を解散致しました。

今回の経験から多くの課題が出てきました。そのひとつとして、各町内会を結ぶ無線の整備が不可欠であることがわかりました。

今後いつそ、防災体制、災害対応のあり方を検証し、安全で安心して暮らせる街づくりに努力してまいります。

## 活躍 自主防災会

北条地区は三年前の中越地震を機に、いち早く自主防災会を立ち上げました。

この度の地震では各町内、地区とも防災訓練や要項によって敏速に動き、住民に安心感を与えました。

## 地震に寄せて

旧広田町内会長 桑原 潔

地震! そのとき、自宅近くで畑仕事の最中でした。傍の池の水がバケツに数十杯も道路に飛び出しました。揺れが落ち着くと同時に妻を隣の高齢者夫婦(要援護者)の家に走らせ、私は車の鍵を取りに我家に駆け込みました。前任者から万一のときは公会堂に災害対策本部を設け防災会を機能させるようにと引き継いでいました。

公会堂を開け、道路に出ている人に被害がないか声をかけながら、被害が大きいい家には無事を確認するため飛び込みました。テレビや箆笥が目茶目茶、幸い旦那さんは無事、奥さんも盆内で無事とのこと。後で応援に来ると言い残して公会

堂に入りました。次々と役員が駆けつけ、各班の被害状況を班別一覧表に記録。要援護者は全員無事、古広田(こひろた)の被害甚大などが判明し、二人一組の緊急応援隊を組織、また、炊き出しも決定し、給食給水班に出勤要請です。自宅が壊れて大変なのに駆けつけてくれた女性軍に頭が下がります。3日間炊き出しを行いました。

反省点も多くありますが、役員全員で相談し、防災会が機能できたことは大変よかったと思います。

## 自衛隊さん、ありがとう

再び激震に襲われ、身も心も疲れきっている中で、自衛隊の皆さまから食事のお世話をいただき、食事毎に温かい気持ちも一緒に賞味させてもらい何よりでした。朝早くから夜遅くまで笑顔で接して下さり、心より感謝申し上げます。

(北小避難所感謝のことはより)

